



# 今日は何をするの？

笑顔で過ごしていただくために

足羽更生園では3つの寮(生活スペース)があります。そこで暮らす利用者の方が5つの活動場所以に分かれて活動をしています。

利用者の方にとって活動日はするべきことがわかりませんが、お休みである週末はどのように過ごしてよいのかわからない時間でもありました。

そこで平成25年度より「寮単位での行事や外出を毎月行う」という目標を挙げ行ってきました。これによって利用者の方の生活はどのように変わっていったのでしょうか…。

## 寮での取り組みが 始まりました

足羽更生園では、今まで「社会参加活動」という名前で、活動ごとに外出を企画し実施してきました。

しかし、活動のない週末は利用者の方にとっては「何もすることがなく不安な時間」となります。

そこで、3つの寮合同で行うレクリエーションとは別に、利用者の方の居住の場である「寮ごと」に毎月の行事を企画し、行うことになりました。

## 週末の過ごし方とは

### Kさんの場合

Kさんは、いつも元気に活動に出かけていきます。

しかし、活動がない週末になると、ご家族とともに帰省される利用者の方の姿を見ることがになり、ご家族が仕事で忙しくふれあいの機会がありません。Kさんは、徐々に寂しさを訴えてくることになりました。

### Mさんの場合

Mさんは、月に1度のご家族の面会やときどきある帰省にて、ご家族とふれあっています。

しかし、ご家族が帰られると「もつとお母さんと一緒にいたかった」という寂しさから、居室でふさぎ込むことがあります。



KさんとMさんの変化



Kさんは、平成25年度に女子寮で行ったほとんどの行事に参加されました。左の写真は8月に行ったホットケーキ作りのときのものです。

他の利用者の方の誕生日会では大きな声で歌い、お祝いを一緒にしてくださいました。その他の行事のときも他の利用者の方と一緒に楽しまれている様子を見ることができました。

「終わると「楽しかった」と笑顔で話してくださり、寂しさを忘れ、幸せな時間を過ごすことができたと思います。



Mさんは、毎月行った利用者の方の誕生日会をとっても楽しみにしておられました。

そして、行事の際にネイルやお化粧をすると「またやりたい」と伝えてくださるようになりました。

終了後「Mさんが大切にしているノート」に職員が思い出を書くと、とてもうれしそうな表情をされるようになりました。ご家族への電話のときにもMさんが笑顔で過ごされている報告ができて、うれしかったです。

私たちにできること

平成25年4月より実施してきた寮での行事を通して、毎月利用者の方との思い出を作ることができました。また楽しい会話につながることもできました。

「楽しかったわー」  
「ケーキ食べた！美味しかったわー」  
など、終わった後には幸せそうに話してくださることもありました。

週末・祝日といった活動のない日も見通しをもって笑顔で過ごしていただくために、これからも利用者の方と職員が共に楽しめるイベントを考え、取り組んでいきます。

